がん患者の妊活 環境整備を

西宮市武庫川町の兵庫医科大病院産科婦人科の主任教授、柴原浩章さん(57)は、昨年12月に同科に開設された不妊治療専門の「生殖医療センター外来」で、不妊に悩む患者の治療に当たる。

同外来では、一般的な不妊治療に加え、がん治療などにより、妊娠しにくくなる可能性がある患者の卵子を手術前に凍結するなど、最先端の不妊治療にも取り組んでいる。近年、若い女性のがん患者も増えているといい、「将来患者さんが希望した時に、妊娠できるよう環境を整えたい」と力を込めた。